

やすいじんじや 7. 安居神社



- **所在地** 大阪市天王寺区逢阪 1 丁目 3 番 24 号
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 少彦名神(すくなひこなのかみ)、菅原道真を祀る古社。昌泰 4 年(901 年)菅原道真が太宰府に左遷された際、河内の道明寺にいた伯母覚寿尼(かくじゅに)を訪ねて行く途中、ここへ立ち寄って安井(休憩)した。当時、道真に同情した村人がおこしを差し上げると、お礼にと菅原家の紋所「梅鉢」を渡した。これが、今でも大阪名物の「栗おこし」の商標の梅鉢となったといわれている。安居天神社は、その道真の死後の天慶 5 年(942 年)、道真の霊を祀るために村人たちが建てたもの。当地は四天王寺の僧侶がここで夏安居(げあんご: 雨季の間に外出を控え寺院で修行に専念すること)することもあり、「安井」が「安居」になったという。また、享保 11 年(1726 年)、大丸の業祖下村彦右衛門氏が、社殿の破損荒廃の甚だしい事を嘆き修理するなど、歴代大丸店主の神社に対する信仰は篤く、世に大丸天神と称せられる所以である。

境内には、道真も口にしたといわれる天王寺七名水のひとつ「かんしづめ(癩鎮め)の井」のほか、大坂夏の陣で徳川方に討たれて戦死した真田幸村の祈念碑銅像が建つ。

いっしんじさんぜんぶつどう 8. 一心寺三千佛堂



- **所在地** 大阪市天王寺区逢阪 2 丁目 6 番 13 号
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 一心寺に参詣される善男善女のために開かれた講堂として、平成 14 年(2002 年)5 月に建立された。この内部、大回廊に、千躰の佛様—「千躰佛(せんたいぶつ)」を 21 世紀中かけて順次造立奉安されていく予定である。

9. 清寿院 (関帝廟)



- **所在地** 大阪市天王寺区勝山2丁目6番15号
- **登録年月日** 平成26年3月20日
- **概要** 「三国志」の英雄関羽を祀り、正式には黄檗（おうばく）宗白駒山清寿院と言われる。中国との縁が深いため南京寺と通称されている。明和元年（1764年）12月、浄土宗住職宗円より黄檗僧大肩和尚が譲り受け、中国僧大成和尚を中興開山となし、本堂を再建して黄檗宗の末寺となった。「摂津名所図会大成」には、藁葺きの表門や一對の摩伽羅（想像上の大魚）を載せた入母屋の本堂などをうかがうことができる。明治18年（1885年）に、長崎から来阪した広東華商の利興成（りこうせい）・同孚泰（どうふたい）の両貿易商が発起人となり、日本人取引業者を含めた篤志家（とくしか）とともに本堂・拝所・表門等が中国風に改築された。大坂の文化人木村兼葎堂との交流が盛んであったと、「兼葎堂日記」に開山禅師をはじめとした交流が綴られている。

10. 真田山公園前の道



- **所在地** 大阪市天王寺区真田山町、玉造本町付近
- **登録年月日** 平成26年3月20日
- **概要** 真田山公園の北側の坂道は、真田山町と玉造本町との間の道を西へ入り、餌差町（えさしまち）の伝長寺前まで約330mつづいている。真田山公園の地には、もと騎兵第四連隊があり、昭和7年（1932年）に移転した跡地が公園となった。公園北の坂道も騎兵隊移転後に整備されたものである。上町台地に点在する文化遺産や貴重な史跡の景観を楽しみながら散策できるみちづくりの1つである「坂道」整備により、この石畳の道も昭和59年～60年（1984年～1985年）に整備された。

11. 真田山公園



- **所在地** 大阪市天王寺区真田山町5番
- **登録年月日** 平成26年3月20日
- **概要** 騎兵第四連隊の跡地に、昭和14年（1939年）8月に開設した。戦後、占領軍に一時期接收されたが、昭和23年（1948年）に運動公園として再開園し、現在は、天王寺スポーツセンターや真田山プール（屋外50m、冬季はアイススケートリンク）、野球場、テニスコートなどの施設を備えた総合スポーツ公園として多くの市民に活用されている。

12. お寺のまち・下寺町と斜面緑地



- **所在地** 大阪市天王寺区下寺町 1 丁目・2 丁目付近
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 坂道や眺望点など、上町台地は大阪市内では珍しく地形変化を楽しめる場所であるが、なかでも延長 2 キロ近くの樹林帯が南北方向に連なっている「夕陽丘(ゆうひがおか)」は貴重である。
下寺町には、昭和 4 年(1929 年)に建設され、国の登録有形文化財に指定されている心光寺の本堂や、天正 19 年(1550 年)開基足利尊氏で、足利家の祈願所で近畿の名刹であったと言われている大蓮寺(だいにんじ)などがある。

13. 学園坂



- **所在地** 大阪市天王寺区下寺町 1 丁目・2 丁目付近
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 天王寺区下寺町・松屋町筋から谷町筋六万休へ通ずる坂は、上町台地の中央を南北に分断するような大きな坂である。かつて小さな道を切り開いて自動車道路として造られたものである。その後、道沿いに大阪女子学園(現在大阪夕陽丘学園)ができて学園坂とよばれるようになった。

14. 四天王寺西門前の参道



- **所在地** 大阪市天王寺区四天王寺 1 丁目 11 番
- **登録年月日** 平成 26 年 3 月 20 日
- **概要** 四天王寺西門前の石畳の道であり、参道上に立つ西門前の石鳥居は国の重要文化財に指定されている。石鳥居から西門までの沿道には店舗や露店等が並んでいる。
四天王寺西門は、浄土信仰のうえで日想観の聖地として位置付けられる特別な土地であり、平安時代以降、様々な階層の人々から厚い信仰を集めてきた。石鳥居はその象徴的な存在で、現世から西方浄土への入口としての役割を負う建造物である。
なお、参道については、四天王寺の参道にふさわしい、にぎわいと雰囲気づくりを目的に大阪市の修景事業により整備が行われている。

おおさかしりつおおえようちえん
15. 大阪市立大江幼稚園



- 所在地 大阪市天王寺区四天王寺1丁目11番108号
- 登録年月日 平成26年3月20日
- 概要 昭和5年(1930年)7月17日開設。平成22年(2010年)に、80周年を迎え、園舎は、戦災や災害に耐え、木造平屋建て瓦ぶき屋根の、歴史と伝統の重みと懐かしさを残している。園庭には、桜や藤などの樹木やブドウやミカン、モモ等の実のなる木があり、花壇には四季折々の花が咲く。

おおさか じっけんしゅうこうじゅうたく ねくすと
16. 大阪ガス 実験集合住宅 NEXT21



- 所在地 大阪市天王寺区清水谷町6番16号
- 登録年月日 平成26年3月20日
- 概要 「ゆとりある生活と省エネルギー・環境保全の両立」をテーマに、近未来の都市型集合住宅のあり方を提案することを目的として、大阪ガス(株)が平成5年(1993年)10月に建設した実験集合住宅である。竣工以来、平成6年(1994年)4月、平成12年(2000年)4月、平成19年(2007年)4月から各5年間にわたり、それぞれ時代を見通したテーマを設定し、大阪ガス社員とその家族が実際に居住しながら、計3回15年間の実証実験が取り組まれてきた。平成25年(2013年)6月からは「第4フェーズ」として、「環境にやさしい心豊かな暮らし」をテーマに、人と人のつながりの創出、人と自然の関係性の再構築、省エネ・スマートな暮らしの実現を満たすべき要件と捉え、それらを具現化する、「住まい」および「エネルギーシステム」の2分野の実証実験が実施されている。樹木も多く配置され、周辺の住民の方々からも親しまれている建物である。

ゆーしてい
17. U氏邸



- 所在地 大阪市天王寺区清水谷町7番9号
- 登録年月日 平成26年3月20日
- 概要 打ち放しの外観に、豊富な植栽が良く映える。昭和43年(1968年)に職住一体都市住宅のさきがけとして建築された。緑に被われたファサードは年月を重ねるごとに豊さを増している。日本の現代建築に大きな影響を与えた建築家・西澤文隆による設計。平成19年(2007年)には、NPO法人屋上開発研究会大阪支部が主催する「第1回屋上開発・関西さきがけ賞」の大賞を受賞した。